

あなたの街にも「地域共生」の取り組みを！



# 社会福祉法人太陽の家 生きづらさ・働きづらさを抱える方々への 就労支援について

社会福祉法人太陽の家 就労事業部 で働く奥武あかねさんは、障がい者就労支援の現場で『生きづらさ・働きづらさを抱える方々への就労支援』に取り組まれています。



奥武あかねさん

さて、「生きづらさ・働きづらさを抱える方々」ってどんな人達でしょう？

奥武さんが支援している方々は、

- ・ 働く中で嫌な経験をしたためにそれがトラウマとなってしまった方
- ・ “働かないと”という気持ちはあるのに、いざ大勢の中に入ると何か溶け込めない・なじめないために出勤できなくなってしまう方
- ・ ちゃんと学校は卒業しているけれども就職活動がうまくいなくて、就職できなかった方 など、精神的な面で働くことから遠ざかってしまっている方が増えている傾向にあるそうです。

そのような方々への支援で意識していることは、『**自分自身を知る**』というステップ。

「“働く力”を発揮するためには、“日常生活の力”や“自己の理解”という「土台」が安定していることが不可欠です。」

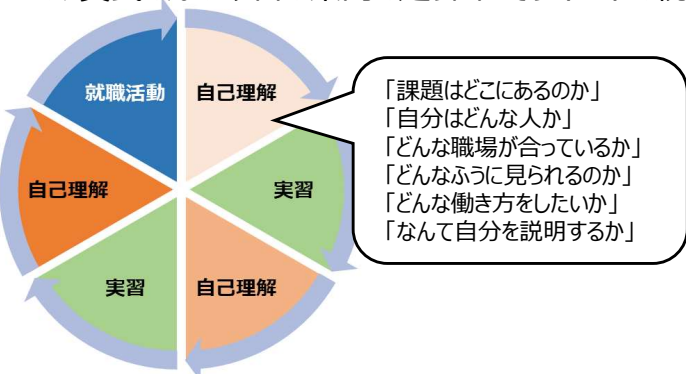
自分を理解すること、自分のニーズを理解すること、そして自律的に自分をコントロールする力、自分自身について説明する力。そういった力がつけられるように、時には言いづらいことにも踏み込む勇気、伝える優しさが求められてきます。

そして自己理解のプログラムの中では、「姿勢が悪くなっているよ」「表情が暗くなっているよ」と、気づいたことを伝えながらも、言いっぱなしではなくて、「こういう風にするともっと良くなるよね」と、それらを受け止める利用者の方々に寄り添うことも忘れません。

もうひとつ、人を支える上で大切なことは『**その人の良いところを見つける**』ということ。

「魅力を理解していないと、良い就労支援には繋がらない」ということを念頭に、ご本人と企業との間に立ち、ご本人の同意を得た上で、ネガティブな情報や魅力も含め、「本人が伝えきれないこと」「企業側が知りたいこと」を代弁することも…。さらに「なにかあれば私たちがサポートをします」と、ご本人、企業が安心できる環境を整えています。

「むかし私の恩師に、“**知った人には責任があるんだ**”と言われたんです。その言葉がいま私の原動力になっています」と、奥武さんは今日も県内を走り回ってサポートを続けています😊



## 【こんな工夫も…☺️ ～コロナ禍での就職支援～】

コロナ禍で企業訪問も難しい。そんな状況下で奥武さんが思いついたのが、動画による自己紹介📺 各利用者さん達がそれぞれの自己PRをパワーポイントスライドにし、それを使って自己紹介している動画を作成。実習依頼したい企業さんに視聴してもらい、興味をもっていただければ実習へ…という活動を始めたそうです。コロナに負けず、顔が見える関係づくりが進んでいます。